

所信概要書

山岡 吉也

はじめに

私は平成5年4月の初当選以来、喜多方市議会議員として連続6期にわたり活動を重ねて参りました。このたび平成18年1月9日市町村合併後の新喜多方市における第14代議長を目指し議長選挙に立候補するにあたり、この迄の経歴と今後の議会運営に対する所信の概要をこの場で述べさせていただきます。

1. 経歴と実績を生かした議会運営

この迄議会運営委員、総務常任委員、文教厚生常任委員、産業建設常任委員、決算特別委員、議会議員定数等に関する検討特別委員を歴任し、産業建設常任委員長、総務常任委員長、決算特別委員長と、いつの要職も担って参りました。これらの経歴を基盤に円滑で公正な議会運営を実現し、議会全体の信頼性向上に努めてまいります。

2. 公正・中立な議会運営の徹底

議長は議会の秩序を守ると同時に議員の多様な意見を受け止める寛容さと公平な判断力が求められます。私は公正・中立の姿勢を貫き、円滑で活発な議論が交わされる議会環境の整備に全力を尽くします。

3. 開かれた議会の実現

市民に開かれた議会、分かりやすく、信頼される議会を実現するため情報公開の推進、市民との意見交換の機会を拡充、ＩＴの積極活用などを進め、市民との距離を縮める議会運営を図ってまいります。

× 議会改革と政策提言への姿勢

私は現在会派「真誠会」に所属し第6期目の抱負として以下の課題に取り組んでおります。

- 雇用環境の整備を強力に進めるための政策提言。
- 行財政改革の断行
- 議員定数の削減の推進。

このことは市民の期待に応える持続可能な行政運営の実現に向け議会として真摯に向き合うべき重要課題であります。私は議長の方針のもと率先してこの改革を進めてまいります。

お礼に

私は議会の最年長議員として豊富な経験と広い視野をもって調和と前進の両立を図る議会運営を目指します。この中での善処のために必要なのは、対立ではなく知恵を出し合う協働の姿勢です。議会がオールとして市民の期待に応える体制づくりを進めるため、皆様のご理解とご支援を心よりお願い申し上げます。